

汚泥の高付加価値化と省エネ・創エネを組み合わせた事業採算性の高い炭化システムに関する調査事業

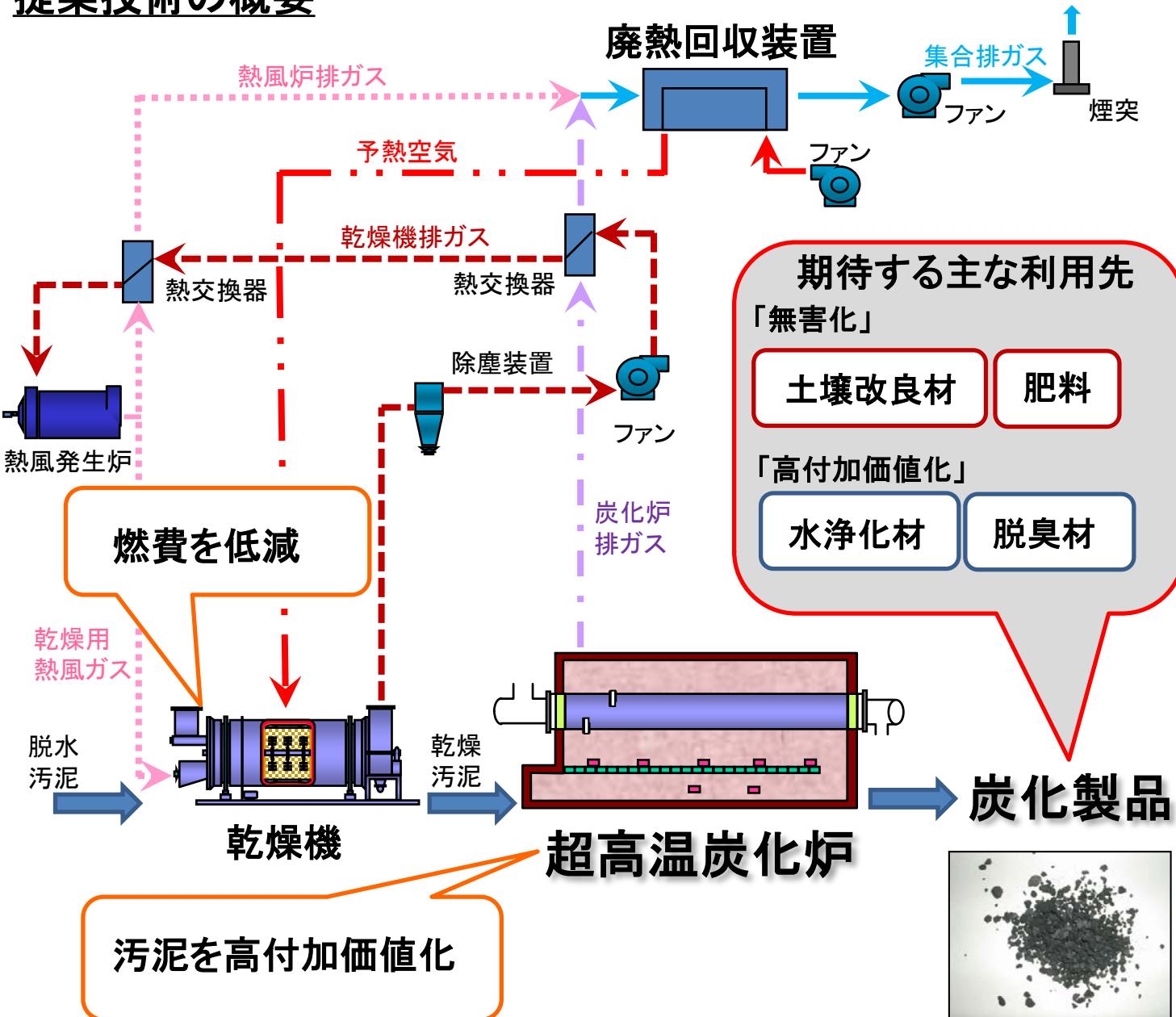
事業実施者

大同特殊鋼・中央大学・気仙沼市共同研究体

調査概要

- ①下水汚泥の超高温炭化処理による無害化および高付加価値化の性能確認
- ②乾燥機の侵入空気を予熱・制御し燃費を低減する技術性能確認
- ③これらを組み合わせた炭化システムにおける事業採算性の検討

提案技術の概要



提案技術の革新性等の特徴

- ①超高温炭化炉
 - ・超高温に耐え得るロータリーキルン
 - ・燃料消費が増加しない超高温処理
- ②生成炭化製品の高付加価値化
 - ・塩素や重金属類の濃度が高い汚泥の残留塩素および重金属類含有量を低減→「無害化」
(利用先・・・肥料、土壌改良材など)
 - ・比表面積が増大→「高付加価値化」により引取価格が向上
(利用先・・・活性炭の代替＝水浄化材など)
- ③炭化システム
 - ・乾燥機に侵入する空気を予熱・制御することで燃費を低減